

## 平成26年度活動報告書(1/2)

学部・委員会名	教職課程
学部長・委員長等氏名	課程主任 額田 恭郎
担当所管	教職学情課
テーマ	教員を目指す学生への指導強化

※テーマは、具体的な計画・実行・点検・改善のためのPDCAサイクルの基本単位です。

### 1. 目標（改善点や実施の背景となる事由、達成したい目標など）

教職課程は、各学科で学んだ専門的知識と技術を持ち、地域、社会に貢献し、活躍できる中学校・高等学校の教員養成を行う。

本課程の教育学分野に属する研究室は、教育学研究室、教育心理学研究室、理科教育研究室、農業科教育研究室、技術科教育研究室があり、各研究室の教員が、広い知識と実践的指導力をもつ各教科の教員養成にあたる。

また、教員採用試験対策講座により、実践的な指導を行う。

### 2. 実施計画（具体的な方法・手段とスケジュールなど）

#### （1）専門的・実践的指導力を有する教員の養成

第一種教員免許状取得に関する教職及び教科に関する授業をはじめ、教育実習前の教育実習指導や、教職課程での学びの集大成としての教職実践演習を行い、学生が教師となる前の事前指導を行う。

現役合格者に対して現地演習を行うために、教育委員会との連携を確立し、学校へ派遣する。学生は現地演習を行う中で、公務分掌等を体験し、教員になる前の自身の課題を明確にし、今後の研究の推進を行う。

#### （2）教員採用試験対策講座

外部講師（教育委員会採用担当経験者）、教職課程教員及び委託業者講師による授業や面接指導により、現役合格者の増加を目指し、学生への支援を行う。

#### （3）教員を目指す学生指導

教職開講科目以外に、学生が学びを深めたい専門教科、教職教養に関し指導を行う。

### 3. 達成度を判断するための指標

- ・教職課程就職状況
- ・教員採用試験対策講座受講者数

#### 4. 成果・評価

##### ■評価（5～1 で記載してください）

教員を目指す学生への指導強化	5
教員採用試験対策講座	3

##### ■成果

- ・教職課程就職状況（平成 23 年度～平成 26 年度）＜別添資料 1＞
- ・教員採用試験対策講座受講者数＜別添資料 2＞

#### 5. 課題及び改善事項

教職課程開講科目、各研究室の指導、教員採用試験対策講座の話し合いに留まった。  
今後は、教員採用試験合格者がより多くなるよう、学生による授業評価、対策講座アンケート実施及びデータ分析を実施予定。

#### 6. 平成 27 年度への継続の有無

継続有

※添付資料がある場合は、資料名、資料番号を記載すること。

## 平成26年度活動報告書(2/2)

学部・委員会名	学術情報課程
学部長・委員長等氏名	課程主任 額田 恭郎
担当所管	教職学情課
テーマ	博物館、図書館とその周辺産業の就職を目指す学生支援の強化

<b>1. 目標（改善点や実施の背景となる事由、達成したい目標など）</b>	
<p>日本国内の学芸員・司書養成大学の殆どが人文・社会科学系の大学である。</p> <p>本課程は、東京農大に設置されている特徴を活かし、数少ない自然科学系の博物館、図書館とその周辺産業の就職を目指す学生支援を強化する。</p>	
<b>2. 実施計画（具体的な方法・手段とスケジュールなど）</b>	
<p>自然科学系大学に設置されている利点を活かした教育及び博物館、図書館および周辺産業、卒業生と連携し、学生の就職活動を支援する。</p> <p>また、各担当教員が個別指導を実施する。</p>	
<b>3. 達成度を判断するための指標</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学術情報課程就職者数</li> </ul>	
<b>4. 成果・評価</b>	
<p>■評価（5～1で記載してください）</p> <p>・平成26年度 学術情報課程就職者数 5</p> <p>&lt;別添資料3&gt;</p> <p>■成果</p> <p>就職者が出れば成果を評価される、司書、学芸員就職状況で、毎年10名以上の実績を出している。</p>	
<b>5. 課題及び改善事項</b>	
<p>本課程履修者数の増加に対応すべく、円滑な授業計画の立案が課題となる。</p> <p>また、個別指導に多くの時間を費やすため、指導方法を含めた検証を実施予定。</p>	
<b>6. 平成27年度への継続の有無</b>	
<p>平成27年度は「博物館、図書館とその周辺産業の就職を目指す学生支援の強化」とあわせて「学術情報課程開講科目の質向上」について、検証予定。</p>	

※添付資料がある場合は、資料名、資料番号を記載すること。